

エリア17推進状況（2020年度）

新型コロナウイルスの影響で、2020年度のエリア推進会議はほとんど開かれず、各担当理事が拠点を訪れたり、電話での情報収集に努めた。

理事会においてビジョンの進捗状況を中心に下記報告があった。

今後は Zoom を使ったりリモート会議を実施し、会長と各エリアを結び、理事を中心に 拠点の代表との懇談会を本年度中に全エリアで開催する予定である。

*会員を増やそう

- ・定款の改訂により 20 歳以上の入会が明文化されたので若い人の勧誘に役立った。
- ・若い人に無償が受け入れられず、有償ボラに流れるのではないかと危惧されるが、現会員は有償化に抵抗もある。
- ・新規会員獲得の視点を変え、ターゲットを福祉施設とそこの職員に絞り、取り組み始めたところコロナ禍で訪問を自粛している。
- ・サークル活動、同好会、サロン活動への参加を機に入会。
- ・コロナ禍で活動の自粛が続き退会者が増えた。
- ・地域包括支援センターからの紹介者が後を絶たない(増えるのは利用者ばかり)。活動会員の発掘が課題である。
- ・サークル活動、同好会、サロン活動への参加を機に入会。

*組織の健全化

- ・コロナ禍で活動は減少したが、各種イベントも中止になり、結果収支はプラスになった。
- ・助成金申請に精を出していくつか成功した。
- ・次代の担い手に苦慮している。
- ・印刷機のリースを止め、都度スーパーのコピー機利用に転換し経費節減。
- ・事務所の家賃（固定費）の圧縮に注力。
- ・安定した時間預託寄付金がある。
- ・行政の委託事業で安定した収入がある。
- ・会報の発行回数を減らす。
- ・他団体からの受託作業（草刈り）で収入。
- ・60歳代の男性が入会。このことで雰囲気が大きく変わり、何かにチャレンジできそうな予感。
- ・社協とのコラボ事業は大きな成果はないが、組織維持はできている。

*地域と共に

- ・地域が取り組んでいる活動（シトラスリボンの制作）に協力。
- ・コミュニティーサロン運営に参加
- ・市民センターの除草、剪定に参加。
- ・サロン、子育て事業に参加。
- ・マスクの入手が困難なときに手作りマスクを配布した。
- ・道路沿いの花壇の管理。
- ・行政のアドプト事業に参加。

*情報の発信

- ・会報を地域の包括等に配付し、展示してもらっているが発信力は弱い。
- ・地区内全戸に会報を配付。
- ・花壇の手入れやマスクの寄付など、自らは発信していないが周りの第三者が気づいてマスクミに通報。地方紙に掲載された
- ・長年実施しているナルクの説明会と地方紙への会員募集記事は最近全く効果無し。

以上